

令和5年度授業事例：中学校数学科 単元名 1章 正の数・負の数

授業者：兼平 昂

授業の狙い・単元のゴールなど

▶ 乗法、除法のそれぞれの計算の仕方に着目し、乗法だけの式に直して積を求めたり、計算結果から元の式を考察したりする数学的活動を通して、乗除の混じった式を正しく計算したり、正しい式を考察したりすることができる。

評価の方法・評価のポイントなど

- ▶ 乗除の混じった計算を、乗法だけの式に直し、正しく計算することができる。また、その方法を理解している。(知識・技能)
- ▶ 乗除の混じった計算の計算結果から、元の式を考察することができる。(思考・判断・表現)

授業の流れ・ワークシートなど

授業の流れ

1. 前時の内容の確認
2. 問題提示
3. 学習課題の設定
4. 問題解決
5. 演習問題(兼チャレ)

授業の様子

$$\left(-\frac{7}{2}\right) \times (-6) \div \left(-\frac{3}{5}\right)$$

S:「計算しづらい。」「混ざるとややこしい」

T:「乗除が混ざったとき、どうすればよいでしょう?」

S:「除法を乗法の式になおします。」「

T:「乗法だけの式にすると、計算が考えやすいですね。」「

P39 **話しあおう**

右の $(-36) \div (-3) \times 2$ の計算は、どこに誤りがありますか。
また、正しくするには、どのようになおせばよいでしょうか。

✕ 誤答例

$$\begin{aligned} &(-36) \div (-3) \times 2 \\ &= (-36) \div (-6) \\ &= 6 \end{aligned}$$

- どこに誤りがあるかを記述させる。
- なぜ誤りなのかを全体で確認する。

授業の様子を振り返って・生徒の変容・感想など

生徒はこれまでの授業から、乗除の混じった計算や3数以上の計算をどのように考えればよいか、正しく理解することができていた。逆に、教師が時間をかけすぎることによって生徒の退屈な時間が増えてしまったように感じる。授業内に実施できなかった“兼チャレ”という演習問題を次の時間の始めに取り組みさせたところ、子どもたちは生き生きと取り組んでいた。このような発展問題に取り組む時間をしっかり確保し、生徒の深い思考を促すようにしていきたい。